

航空インフラ国際展開協議会

# これまでの取組みと今後の進め方 について

---

平成26年6月2日  
国土交通省航空局

# 1. これまでの取組み(概要)

○ 第1回協議会で決定された「今後の進め方」に基づき、**官民連携**による**様々な取組みを実施**。

## 「今後の進め方」(25年4月第1回協議会)

## 第1回協議会後の取組み状況

### (1) プロジェクトの獲得推進に向けた取組み

- ・訪問ミッションをはじめとする相手国政府への働きかけ
- ・相手国政府への働きかけによる適切な事業環境整備

- インドネシア官民訪問ミッション(26年2月)
- モンゴル官民トップセールス(26年4月)

(参考) 政府間のトップセールスも多数実施

- ・総理大臣、国土交通大臣等の外国訪問時
- ・APEC交通大臣会合(25年9月)
- ・日ASEAN特別首脳会合・交通大臣会合(25年12月)等

### (2) 政府間会合等の場を活用した本邦企業のプレゼンス強化

- ・多国間・二国間の政府間協議の場を活用したセミナーやビジネス・マッチング

### ○ 政府間会合への企業参加、ビジネス・マッチング

- ・日ASEAN次官級交通政策会合(25年6月)
- ・アジア太平洋航空局長会議(25年7月)
- ・APEC交通大臣会合(25年9月) ・ICAO総会(25年9月)
- ・日インドネシア交通次官級会合(25年10月、26年5月)等

### (3) 案件発掘、案件形成に向けた情報共有、ネットワークの強化

- ・官民の幅広い関係者間で適切に情報共有
- ・要人招聘などによる本邦企業間のビジネス・マッチング

### ○ 協議会「勉強会」

- ・インド空港案件勉強会(25年9月・10月)
- ・ベトナム・ロンタイン空港案件勉強会(25年9月、26年4月)
- ・ファイナンス勉強会(26年3月)
- ・タイ・フィリピン勉強会(26年5月)

### ○ 今後の取組み方策の検討

- ・協議会「懇談会」(25年11月)

### ○ ASEAN4カ国航空局長等訪日時のビジネスマッチング(26年1月)

等 1

## (1) プロジェクトの獲得推進に向けた取組み

- **インドネシア**において、我が国企業の優れた技術やノウハウを紹介する**官民訪問ミッション**を実施。
- **モンゴル**において、新ウランバートル国際空港の運営権獲得に向け、太田大臣と関心企業トップによる**官民トップセールス**を実施。

### インドネシア官民訪問ミッション(26年2月)

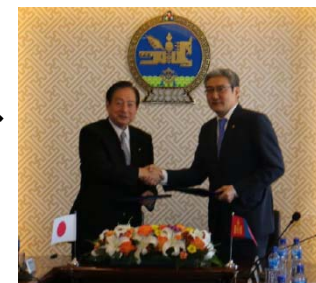
- 本協議会の初の海外訪問ミッション。インドネシア航空当局と協力し、ジャカルタにおいて「日インドネシア航空セミナー」を開催(約170名参加)。
- 空港や管制システム等、我が国企業の優れた技術やノウハウを紹介するとともに、官民が連携してトップセールスを実施。



日本側： 坂井国土交通大臣政務官、喜多 協議会副会長、尾形 協議会副会長、協議会参加企業約40社他 約70名  
インドネシア側： バンバン運輸副大臣、航空総局長、第1空港会社幹部、第2空港会社幹部、航空管制会社幹部他 約100名

### モンゴル官民トップセールス(26年4月)

- 太田国土交通大臣モンゴル訪問の機会に、新ウランバートル国際空港の運営権獲得に向けた「新ウランバートル国際空港プロジェクト現地推進会」を官民で開催。
- 太田大臣及び同行した関心企業トップから、ガンスフ道路・運輸大臣に対して、空港運営権獲得に向けたトップセールスを実施。
- 併せて、民間航空庁の長官等幹部に対し、管制分野の官民説明会を実施。



## (2) 政府間会合等の場を活用した本邦企業のプレゼンス強化

- 多国間・二国間の政府間協議の場を活用したビジネス・マッチングの機会を多数提供。

### 日ASEAN次官級交通政策会合(25年6月:新潟)

- 会場ブースで協議会企業のパンフを配布。ASEAN10カ国の交通担当省次官級幹部等(33名)にPR。
- ビジネスマッチングディナーに協議会企業が出席(32社54名)。



### アジア太平洋航空局長会議(25年7月:バンコク)

- 会場ブースで協議会企業のパンフを配布。30カ国の航空当局幹部等(約350名)にPR。

### APEC交通大臣会合(25年9月:東京)

- 会場ブースで協議会企業のパンフを配布。21カ国・地域の交通担当大臣等にPR。
- 羽田空港やMRJ製造工場のテクニカルツアーを実施し、空港建設技術、空港運営、管制システム、航空産業技術等をアピール。

### ICAO総会(25年9月:モントリオール)

- 日本主催レセプションにおいて、協議会企業のビデオ上映、パネル展示、パンフ配布等を実施。
- 大臣級7名を含む各国代表団約700名の来場者にPR。

### 日インドネシア交通次官級会合(25年10月:札幌)

- 会場ブースで協議会企業のパンフを配布。「航空分野別会合」に協議会企業が参加(19社37名)。<sup>3</sup>
- ビジネスマッチングディナーに協議会企業が出席(15社28名)。

### (3) 案件発掘、案件形成に向けた情報共有、ネットワークの強化

- 案件発掘、案件形成に向けた**情報共有、ネットワーク強化**のための**各種取組み**を実施。

#### 協議会「勉強会」

- 重要案件や協議会企業の関心の高いテーマについて、情報共有のための「勉強会」を随時開催。
  - ・インド空港案件勉強会(25年9月・10月)
  - ・ベトナム・ロンタイン空港案件勉強会(25年9月、26年4月)
  - ・ファイナンス勉強会(26年3月)
  - ・タイ・フィリピン勉強会(26年5月)

#### 協議会「懇談会」(25年11月)

- 今後の航空インフラ国際展開の取組み方策について、ミャンマー空港案件をケーススタディとして、関係企業を中心に検討。案件の段階毎に課題と方策を整理し、結果を協議会企業で共有。

#### 4カ国航空局長等訪日時ビジネスマッチング(26年1月)

- インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピンの航空局トップの訪日の機会を捉え、協議会関心企業によるビジネスマッチングを実施。

#### 関係者間の連携強化の動き

- 航空管制関係企業は、「航空管制システム等海外展開推進会(JANSOA)」を設立(25年7月)。
- 空港運営企業間においても、協力・連携強化の動き。

#### 25年度国土交通省案件発掘調査における官民連携

- 「タイ、フィリピンの空港事業参入に向けた調査」を官民が協力して実施。成果は「勉強会」で共有。
- 「インドネシアの航空管制システム近代化に向けた調査」を官民が協力して実施。調査結果を元に、4日インドネシア交通次官級会合(26年5月)において先方政府に具体的提案。

## 2. 今後の進め方(案)

- これまで、「今後の進め方」(第1回協議会決定)に基づき、様々な取組みを進めてきたところ。
- 今後とも、これまでの活動成果を踏まえ、引き続き「今後の進め方」に沿って、官民連携により、訪問ミッション、トップセールス、ビジネスマッチング、各種勉強会等の諸活動を積極的に展開していく。

### 【個々の活動のスケジュールについて】

- 個々の活動の具体的なスケジュールは、協議会委員の意向及び諸情勢を踏まえ決定していくこととするが、主要な取組みについての考え方は、次のとおりとする。

海外訪問ミッション： 本年度後半の適切な時期に実施する。対象国は、フィリピンを軸に検討する。

要人招聘： 本年度は、適切な時期の招聘事業の実施についても検討する。

### (参考)ビジネスマッチングの機会が想定される主な政府間会合

- |           |                 |          |
|-----------|-----------------|----------|
| ○平成26年6月  | 日ミャンマー交通次官級会合   | (於：ネピドー) |
| ○平成26年6月  | 日ASEAN次官級交通政策会合 | (於：東京)   |
| ○平成26年11月 | アジア太平洋航空局長会議    | (於：香港)   |
| ○時期未定     | 日ベトナム交通次官級会合    | (於：ベトナム) |